

様式第6号（第5条関係）

政 務 活 動 費 実 績 報 告 書

平成30年3月29日

（宛名）久慈市議会議員

会 派 名 新政会

代表者名 会長 澤里富雄

政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり報告します。

使 途	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☒ 広報費	☐ 広聴費	☐ 要請・陳情活動費
	☐ 会議費	☐ 資料作成費	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務所費
実施期間	平成30年3月28日（水） 午前10時～午後0時				
実施場所	道の駅くじ「やませ土風館」多目的ホール				
参加者名	澤里富雄（会長）・上山昭彦（幹事長）・泉川博明・山田光・岩城元				
実績額	116,780円				
内 容	久慈市議会「新政会」活動報告会 他の市議会においては、政務活動費の不適切な支出が報じられるなど、再発防止策などが検討されている議会もある。 これまでも当久慈市議会では、政務活動費の透明化を図るため、ホームページで各会派の収支報告書や集計を公表してきたが、さらに使い道の透明性を高めるため、活動計画の事前提出を義務付け、活動費の交付方法も「後払い」に改め運用されている。 このような状況において、私共「新政会」では、政務活動費を地方自治法に基づいた、地方議員の調査研究やその他の活動に役だてる経費の一部としてのみに活用している。 さらに、議員個々の資質を高めるだけではなく、会派内で研修についての情報共有化や研修内容についての問題点・論点の洗い出し等を行い、研修後における一般質問等を通して、今後の久慈市がさらに暮らしやすくなるための施策に結び付くよう、当局への問題提起や提言等へ繋げているものと考えている。				

しかし、会派としてこれまでは、政務活動費を活用した研修等を市民へ広く広報することがほとんど無かったことから、政務活動費の活用についての理解が得られにくい環境であったことも否めず、「会派」としての活動報告会を開催したことは、政務活動費の使途を透明化することができ、さらに研修について市民からの意見や提言も得られ³など、議員活動の「見える化」の一助となったものと考えている。

活動報告会を開催するにあたっては、視察を行う際と同様に、会派内で日程や開催場所などについて検討を重ねたが、あえて、土曜日・日曜日ではなく平日の日中を設定した。

開催場所は参加者が集まりやすい市内中心部の「やませ土風館」とし、買い物や用事のついでにでも参加できることを考慮し、「市日」が開催される日と重ね参加者の増加を考えたところである。

会場の机の配置に関しても、活動報告会ではあるが、ワールドカフェスタイルに近い形をとり、飲料水や茶菓子を用意し、パーテーションを取り払いオープンスペースを作り、説明の最中でも出入り自由とすることによりリラックスして参加できる環境を整えるよう努めた。

また、ICTの活用を推進している久慈市議会を見ていただくことも考慮し、オープンスペースの明るい場所でも画像等が視認しやすくなるよう、暗くしなければ見にくいプロジェクターではなく、大画面のテレビやモニターを数台設置し、説明に合わせた資料を映し出すこととした。

会場内で使用する資料については、今年度と昨年度の2ヶ年に渡る「新政会」の政務活動費を活用した視察研修について、その研修報告書5回分を取りまとめ、活動報告会の資料として作成した。

活動報告会の周知方法は、出来るだけ多くの市民に認識いただけるよう、久慈市全地域への新聞折り込みによる活動報告会案内チラシと週末に発行されている広告を活用させていただき開催広報とした。

開催当日は、天候にも恵まれ暖かったこともあったと思うが、全市内への二度の広報による効果があり、開始30分前より参加者が徐々に訪れ、開催時間には40名ほどの参加者が見られた。説明時の出入りを自由としていることもあり、途中参加や何度か出入りしている方も見られ

たが、ほとんどの皆様は、最初から終了時まで参加していただき、延べ参加者数としては、50名を超えたものと思われる。

世代別にみると、平日日中ということもあり、60代以上がほとんどであるように見受けられたが、30～40代とみられる方もおられ、開始直後の性別では、男性が30名、女性が10名であった。

活動報告の手法は、研修回数が5回であり当会派の人数と合致することから、一人1回分の研修を報告とすることとし、配布資料を要約する形でモニターを見ていただきながらの説明とした。

一人当たり約15分を目安として、全部の説明時間を5人で1時間15分程度と考えていたが、幾分超過したものの概ね時間通りの説明時間となった。限られた時間を有効に活用するため、事前の打ち合わせにおいて、各議員が説明を15分以内に合わせるよう原稿作成を行ったことが功を奏したものとする。

今回は、「新政会」として政務活動費を活用した活動報告を主体としたことから、意見交換は30分程度となったが、活動報告への意見として、久慈市議会議員としてこれまであまり見られない議員活動であり良好な報告会であったとの感想をいただき、今後も同様の活動を続けることの大切さが感じられた。

また、駅前ロータリーの研修の説明に関わり、滝川市と久慈市の駅前ロータリーについて、面積や交通量の比較をした資料に基づいて研修がなされたのか質問をいただいたが、面積は比較していたが交通量についてはデータがなかったことから、その比較検討をできない状況での視察であったため今後の視察にあたっては、さらにしっかりとした事前研修を踏まえての視察としなければならないものと考えさせられた。

政務活動費の使途基準について質問があり、政務活動費の交付に関する条例や規程にのっとり適正に使用しており、当会派では、交通費と宿泊費のみに使用していることを説明した。さらに、鉄道会社を利用するのであれば、年齢により割引される特典等もあることから、それらも検討してはとの意見もあったが、鉄道会社のサービスの会員にならなければならない会費も発生することから今後の検討課題としたい。

活動報告以外に関わる意見としては、駅前整備に関わり、駅前ビル老朽化による周辺の市道通行の安全性確保要望や駅前広場の雨水排水処理の危惧等が提言され、これまでの一般質問でも同様の事項が取り上げられたこともあり、今後も議会で取り上げていくことの必要性を感じた。

また、広域道の駅については、三陸沿岸道路が完成しインターチェンジ付近に道の駅ができることにより、現状のままでは市内への観光客や交流人口の減少が憂慮されることから、中心市街地の活性化に向けての議論を議会内で活発化させてほしいとの意見をいただいた。

現状の第2期中心市街地活性化基本計画においても、数値的に大変厳しい部分もあることから、基本計画を有効なものとするために、調査研究をさらに重ねなければならない。

女性からの意見として、特に中心市街地の通学路への子ども目線の様々な注意喚起看板設置を提言いただいたが、今後の一般質問等で取り上げていく必要性を感じた。

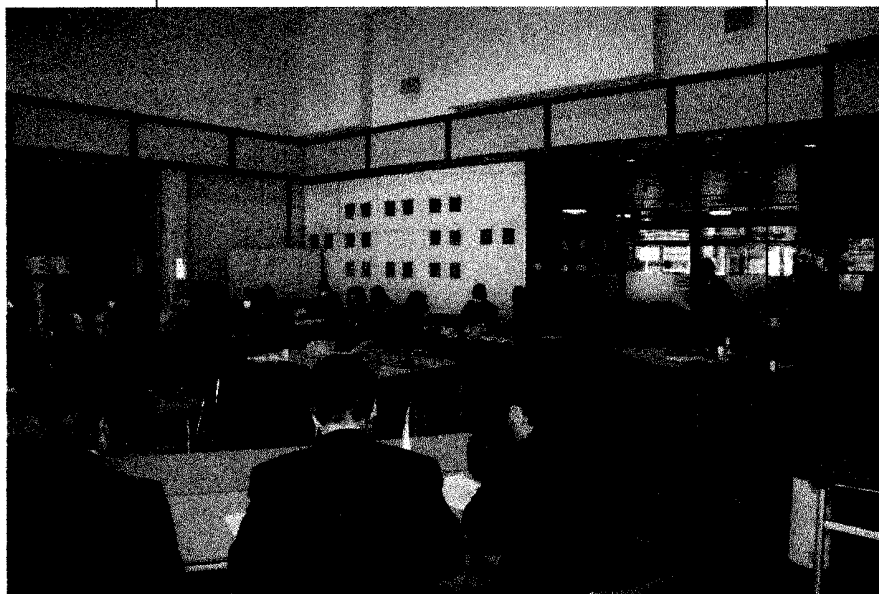
今回の活動報告会を通じ、これからも久慈市議会会派「新政会」として、久慈市民の声を市政に届け、市民生活・市民福祉の向上に向けて議会活動を推進していかなければならないものと思われた。



●やませ土風館「多目的ホール」外での開催案内看板

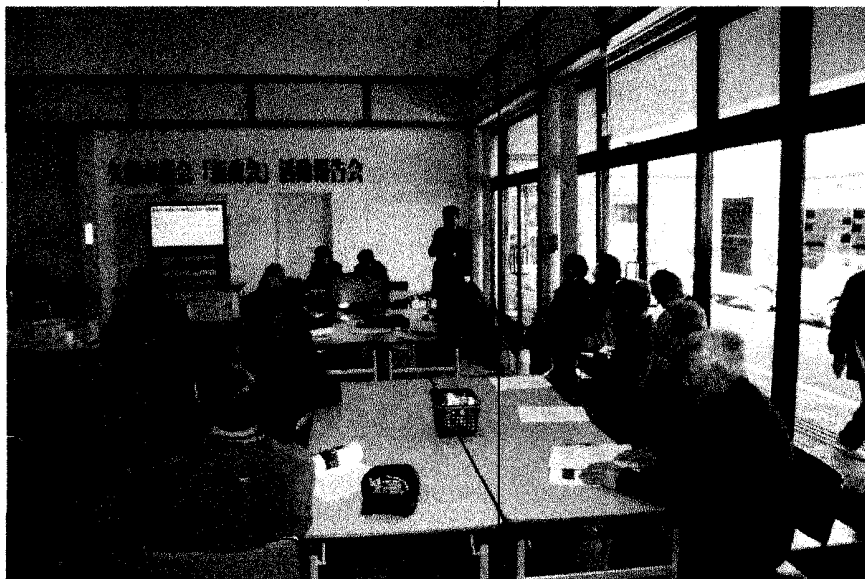
●やませ土風館「多目的ホール」開催前の会場内





●定刻に会長の
挨拶で開会

●テレビや
モニターに
映しながら
の説明



●終盤での説明だ
が、まだ30名以
上が聞いている

久慈市観光交流センター「風の館」利用許可書

申請者

申請日 平成 30 年 3 月 26 日

住 所	久慈市川崎町 1-1
団 体 名	久慈市議会 新政会
代表者名	澤里 富男
電話番号	0194 (52) 2111
FAX番号	

久慈市観光交流センター「風の館」指定管理者

(一社)久慈市観光物産協会
会長 山本 えり子

次のとおり利用を許可します。

利用日時	平成 30 年 3 月 28 日 (水曜日) 午前・午後 9 時 00 分 ~ 午前・午後 1 時 00 分まで □ 別紙 (月分) 日、日、日、日、日、日、日、日、日、日 計 日					
利用目的 (催物等の名称)	活動報告会 ※イベントの際は、事業計画書と駐車場利用計画書を添付してください。					
利用する場所	多目的ホール	☒ 全 面 (134㎡)	時間 円	イベントスペース	☐ 全 面 (200㎡)	時間 円
		☐ 半面 A (50㎡)	時間 円		☐ 半 面 (100㎡)	時間 円
		☐ 半面 B (50㎡)	時間 円		☐ A ☐ B ☐ C ☐ D	時間 円
	会議室	☐ 全 面 (60㎡)	時間 円	展示スペース	☐ 全 面 (237㎡)	時間 円
				利用料合計	1,200 円	
利用責任者	電話番号 () -					
利用人数	人					
持ち込みの備品						
貸出備品	音響機材 コードリール スクリーン ホワイトボード その他				プロジェクター 2台	
備考	※利用料金の免除申請を行う場合は、その旨を記載してください。				物品販売 ☐ 有 物品名:	

※太枠内にご記入ください。

※「利用目的」「利用する場所」「物品の販売」欄は、該当する□にレ点を付けてください。
※久慈市観光交流センター「風の館」ご利用の注意事項を確認した上で申請書を提出してください。
※多目的ホール・イベントスペースの利用面積については、「風の館利用料金表」を確認の上ご記入ください。
※本申請書に記載された個人情報は、利用許可以外の目的には一切使用しません。
※久慈市観光交流センター「風の館」ご利用のお客様の駐車場は、第二駐車場(旧久慈病院跡地)をご利用ください。

領 収 書

利用申請者

許可(領収)年月日 平成 30 年 3 月 26 日

氏 名 新政会 様

一金 ¥ 1,200 - 円也

上記利用に係る利用料として、領収しました。

なお、納入済の利用料は、利用をキャンセルした場合でも還付しません。

久慈市観光交流センター「風の館」指定管理者

(一社)久慈市観光物産協会
会長 山本 えり子

領 収 書

U1U043

新政会

様

平成 30 年 3 月 26 日

金

¥ 9 9 5 8 0

但し 印刷代

収入印紙

200円

上記の通り領収致しました

現金	
小切手	
手形	
振込	
相殺	

〒028-0041 岩手県久慈市長内町24-10-13



有限 九戸印刷

代表取締役 晴山 良一

電話 (0194) 52-1113

担当者印

領 収 証

No. _____

様

収 入
印 紙

★ 16,000.-

但

広告料 (3/24号) と 11

30 年 3 月 26 日 上記正に領収いたしました。

内 訳

現金	
小切手	

税抜金額

消費税額

4,000

久慈広告社 代表 堀畑俊明

〒028-0091 岩手県久慈市大川目町1-11-16

TEL. 0194-55-2325 FAX. 0194-55-347

☆引出物・記念品・販促品・広告マッチ・カレンダー・PR用品・割箸・箸袋・のぼり 久慈広告社

久慈市
055-2

久慈市議会 「新政会」 活動報告会

日時：平成30年3月28日(水)
午前10時～昼12時
場所：道の駅くじ・やませ土風館
「多目的ホール」

※ 入室、退室はいつでも自由です
皆様のご来場をお待ちいたします！

お問合せ：久慈市長内町17-32-2
新政会幹事長 090-1495-6136 (上山晴彰)

久慈市議会「新政会」活動報告会

ご案内

日程

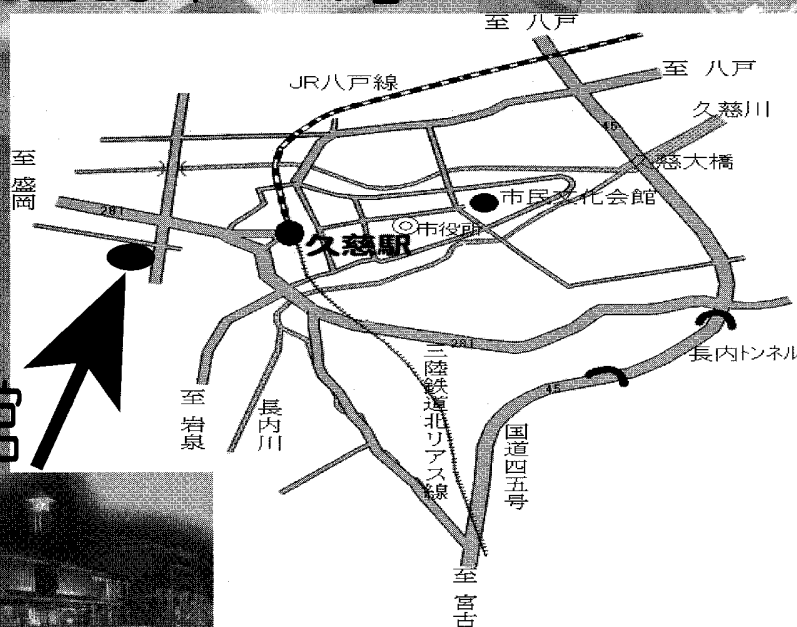
日時：平成30年3月28日（水）

午前10時～昼12時

場所：道の駅くじ・やませ土風館
「多目的ホール」

※ 入室退室は
いつでも自由です

やませ土風館



お問合せ：久慈市長内町17-32-2

新政会幹事長

（上山昭彦）

新政会（構成議員）

会長 澤里 富雄（総務委員会）

幹事長 上山 昭彦（教育民生委員会）

泉川 博明（産業建設委員会）

山田 光（教育民生委員会）

岩城 元（産業建設委員会）



皆様のご来場をお待ちいたします！

久慈市議会「新政会」活動報告会資料抜粋



研修事項

- 平成28年4月14日発生「熊本地震」について

(1) 熊本県熊本市「大規模災害による観光への影響」について

熊本城復旧により各観光資源の魅力をさらに向上させ、より観光客のリピート率を増加させるとともに、各施設での滞在時間を延長するための方策と、そのほかの周辺観光施設への回遊性を図る取り組みを進めることが重要と考えられる。

(2) 熊本県上益城郡益城町「大規模災害時のボランティア活動」について

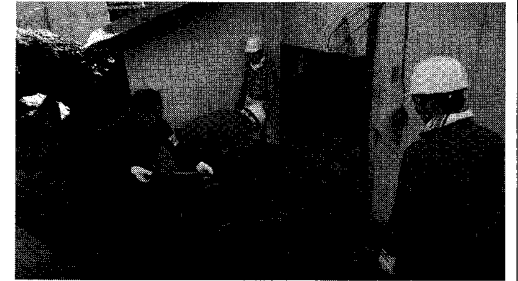
町内会・商店会などの小さな単位でのボランティアセンターが設置されることにより、より地域に密着した要望等が収集され、被災地への行き届いたサービス実施へ重要であると感じられた。

研修事項

- 平成28年8月30日岩手県に上陸した「台風10号」被害について

「台風10号被害にかかる岩泉町ボランティア活動及び被災状況と復旧状況」

久慈市内での災害ボランティア活動や、岩泉町内の災害ボランティア活動に参加し、被災地の状況・被災者の声・被災ごみの分別集積・ボランティアセンターの運営・ボランティア参加者の気持ちなど、多くの得るものがあり、今後の議会活動において、災害時の対応や、その後の復旧・復興への対応に大いに役立つ、災害ボランティア視察研修となった。間伐や植樹など山林の適正な管理や河川の近隣にある住家や道路等の安全管理について、当市においてもさらに考察を深めていく必要がある。



研修事項

(1) 新潟県糸魚川市

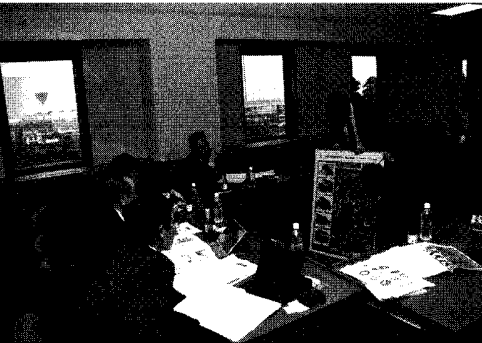
①糸魚川市街地での大規模火災の概要について ②糸魚川ジオパークの事業概要と観光振興について ③大規模火災時のボランティア活動について

災害ボランティアは、どのような災害においても必要性を認めるが、災害の種類や地域状況を踏まえながら、情報の収集によりボランティアニーズを明確にとらえて、被災住民の心情を考慮しながら活動しなければならないことを改めて感じさせられた。

(2) 新潟県上越市議会「議会改革について」

①議員発議について ②議会だよりの紙面作りについて ③委員会のインターネット中継について

当議会でも広聴広報により集められた意見を課題調整して、政策提言に繋げる過程が徐々にではあるが構築されてくるものと期待されるが、会派としてもさらに研修を積み重ね議員発議が出来る環境を構築するため努力する必要がある。



研修事項

(1) 三重県議会「日本一のバリアフリー観光地について」

①「日本一バリアフリー観光県」推進宣言の効果について ②バリアフリーと観光の関わりについて ③バリアフリー観光とヘルスツーリズムの関わりについて
当市においてもバリアフリーツアーセンターを設立できるような環境を整えることが、久慈市の観光産業に必要である。

(2) 三重県多気郡明和町「ヘルスツーリズムについて」

①高齢化に向けた取り組みについて ②ヘルスツアーの取り組みについて ③ヘルスツーリズム長期ビジョンのガイド養成について

住民の健康志向をさらに強くし、ヘルスツーリズムの認知度を高め、ヘルスツーリズム観光ガイド等を充実させ地域外からの交流人口を増加させることに結び付けられるようにすることが、当市としてのヘルスツーリズム事業になるものと推察する。

(3) 奈良県生駒市「小水力発電について」

①導入経緯について ②固定価格買取制度の利点と欠点について ③運営する上での課題について

当市においては、まだまだ多くの場所において小水力発電の可能性が考えられることから久慈市への提言として研究していかなければならない。



研修事項

(1) 北海道釧路市「防災対策について」

①「防災マイ・まっプランナー」について ②タンジブル災害対策支援システムについて

市民の防災意識向上のためにも体験型施設へと改修する必要性に気づくことができた。今後の防災教育における課題として、久慈市防災センターの情報発信・広報施設の充実を考えていくことも必要と感じられた。

(2) 北海道白糠郡白糠町「小水力発電について」

①小水力発電所建設について ②小水力発電電力の利用について

小水力発電は今後の当市においても施策の方向として重要あり、地域に必要なエネルギーを地域のエネルギー資源によってまかなうことにより、お金が地域外に流出せず地域内に残り、地域の中でお金が循環する「エネルギーの地産地消による地域内経済効果」を目指すことにも繋がってくるものであると捉える。

(3) 北海道滝川市「駅前整備関連事業について」

①滝川駅前広场景観検討市民会議の設置について ②駅前広場のロータリーについて

久慈駅においても、駅前には自治体の玄関として重要な顔となることから、整備後はバリアフリー化を含めた駅前広場の利用状況や活用方法について様々な角度から検証を行い、市民のみならず観光客や仕事で当市を訪れる多くの皆様から高評価を得られる駅前整備となるよう議会として関わる必要があることから、当局には時機を逸しないように提言する必要がある。